

まるもりまち こうや

丸森町耕野地区

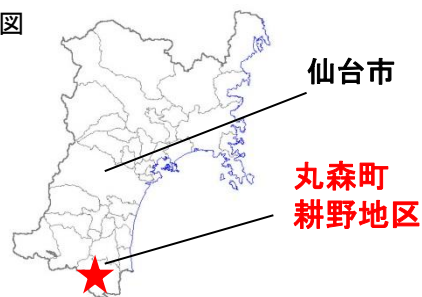
「耕野でころ柿づくりの“おでって”してみねがい？」を実施しました

11月10日(土)・18日(日)・23日(金・祝)・25日(日)の4日間、丸森町耕野地区で「ころ柿(干し柿)」づくりのお手伝いをする援農ボランティアが行われました。地区内の9軒の農家さんで受入れていただき、県内外の学生や会社員等、4日間で計52名が参加しました。



「ころ柿」は、通常の干し柿と比べてやわらかくジューシーなことが特徴で、古くから丸森町耕野地区の特産品として作られてきました。当地区では、地域内外からのボランティアや企業の研修の受入れも行いながら、地域一体となって特産品の生産継続に取り組んでいます。

位置図



まずは、たくさん実った柿を収穫！

手が届かないところは長いハサミや脚立をつかって収穫します。



枝きり



皮むき



ひも通し

収穫した柿は、枝切り、皮むきを経て、ひもを付けて干されます。



干す

農家さんや参加者同士の交流を深めながら、ころ柿づくりの様々な行程をお手伝い。

昼食は、各農家でおいしいごはんをいただきました。ごちそうさまでした！

作業の後は、
全員で記念撮影！

ころ柿生産農家では、1年で約10万個の出荷を見込んでいる方もおり、高齢化による人手不足が進行するなか、こうした地域外からの支援は、地域にとって本当に助けになっています。

また、この活動は人手確保だけでなく、参加者との交流による地域の活性化、ころ柿の新たな販路の確保等にもつながっています。この活動を機に、丸森町耕野地区の自然や人、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。



参加していただいた皆様、ありがとうございました。

*この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っているものです。宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

「農山村集落体制づくり支援事業」とは

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲、丸森町筆甫、丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として支援対象を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。